

## 第2章 令和元年度山口大学構内遺跡の調査

### 第1節 令和元年度に実施した遺跡調査の概要

山口大学の関連諸施設は、山口市(吉田・白石構内)、宇部市(小串・常盤構内)、光市(光構内)の県内各市に分散しているが、各構内は「周知の埋蔵文化財包蔵地」内、つまり遺跡の上に立地している。各構内の様相を概観すると、吉田構内は縄文時代後・晩期から江戸時代にかけての全時代を網羅する複合集落遺跡であり、官衙遺跡としても著名である吉田遺跡内に、白石構内は弥生時代から古墳時代を中心とした集落遺跡である白石遺跡内に、小串・常盤構内は旧石器時代から江戸時代にかけての遺物を包含する山口大学医学部構内遺跡内・山口大学工学部構内遺跡内に、光構内は縄文時代から江戸時代にかけての集落遺跡・遺物散布地である御手洗遺跡と月待山遺跡にまたがり立地している。

このような環境のもと、山口大学埋蔵文化財資料館は、山口大学構内に埋存する貴重な埋蔵文化財の保護・調査・研究・活用する施設として、昭和52年(1977)に竣工し、昭和53年(1978)に構内遺跡調査要綱(埋蔵文化財資料館規則など)が制定、昭和54年(1979)に教職員が配置されて以降、その重責を担い続けている。当館の令和元年度の調査体制は以下の通りである。

まず、各構内において地下掘削を伴う工事が計画された場合には、埋蔵文化財資料館専門委員会において事業計画を確認した後、文化財保護法の諸手続のもと、山口大学各構内が所在する地方公共団体(山口県および各市)の指導により、埋蔵文化財保護の観点から、文化財に支障が生じる可能性が考えられる場合には、本発掘・予備発掘・工事立会の3種いずれかの方法で、厳密に調査を実施している。「周知の埋蔵文化財包蔵地」外に位置する大学関連施設(公認サークル施設や職員宿舎等)敷地内で地下掘削を伴う工事が実施される場合においても、埋蔵文化財の新規発見の可能性を考慮して、できる限り工事掘削時に館員が確認調査を行っている。これらの調査に対する令和元年度の当館の教職員配置は、兼任の館長および副館長が1名ずつ、専任教員2名、専任技術職員1名、技術補佐員1名であった。上記の調査の結果、埋蔵文化財が確認された場合には、埋蔵文化財資料館専門委員会において、遺跡のさらなる現状変更を避けるべく、工事計画、工法の変更等で現状保存が可能であるかどうか

表3 令和元年度山口大学構内遺跡調査一覧

調査区分	調査名	構内地区	構内地区割	面積(m <sup>2</sup> )	調査期間	本書掲載頁
本発掘	教育学部附属山口小学校改修工事(EV・渡り廊下)	白石		60	7月23日～8月9日	35
予備発掘	学生会館(仮称)新営工事	吉田	G-13	75	11月25～12月19日	13
	基幹・環境設備(ため池改修)工事	吉田	S・T-9	42	1月28日～3月4日	19
	基幹・環境設備(ため池改修)工事	吉田	S・T-8	2,810	1月30日 3月4日	25
	基幹・環境整備(ブロック塀対策)工事	吉田	H-22	23	7月1・2日	27
	生活排水処理施設解体に伴う排水管支障迂回工事	吉田	G・H-13	53	2月14日	28
	東門フェンス改修工事	吉田	V・W-17	2.25	8月26日	29
	総合研究棟(経済学系)改修工事	吉田	K-20	15.5	9月19日	30
立会	ライフライン再生(電気設備)工事	吉田	B・C・D-21	169.4	12月16～18・20・23～26・28日	31
	ライフライン再生(給水設備)工事	吉田	D・E-20			
	東アジア研究科・経済学部研究科棟渡り廊下屋根取設工事	吉田	K-21	9.7	3月17・18日	34
	教育学部附属山口小学校校舎改修工事	白石		798	9月11日～3月20日	40
	教育学部附属山口小学校基幹・環境整備(ブロック塀対策)工事	白石		0.54	6月27日	72
	教育学部附属山口小学校校舎改修工事(仮設校舎)	白石		205	8月26日 10月2日	71



か厳格な協議を行い、保存方法を選定している。また、調査成果については、地方公共団体への報告後、内業整理等を経て可能な限り迅速に発掘調査概報(年報)を刊行している。

上記の体制のもと、令和元年度に当館が実施した大学構内における調査は、表4のとおり本発掘1件、予備発掘2件、立会10件の計13件であった。

**吉田構内**(本部、人文・教育・経済・理・農の各学部: 山口市吉田1677-1、教育学部附属特別支援学校: 同吉田3003所在)

例年どおり、開発工事計画は吉田構内に集中しており、令和元年度の埋蔵文化財調査は予備発掘調査2件、立会調査7件を実施した。

令和元年度後期に至り、学生会館(仮称)新営工事と基幹・環境整備(ため池改修)工事が新たに立案された。学生会館(仮称)は、構内正門西側に所在する排水処理センター生活排水処理施設と廃棄物倉庫を撤去して新営される予定であったことから、地下の破壊が少ない既設廃棄物倉庫敷地にて予備発掘調査を実施し、弥生時代の河川跡1条を確認した。ため池改修工事は、吉田構内北東部に位置



写真16 吉田構内航空写真(南東から)



写真17 白石構内(教育学部附属山口幼稚園・小学校)航空写真(東から)



写真18 白石構内(教育学部附属山口中学校)航空写真(南から)



図1 山口大学吉田・白石構内位置図

する農学部附属農場敷地のため池2～4を改修するものであった。それに伴い複数の水路の設置が計画されたことから、放牧地の中央に設けられる3号水路計画地にて予備発掘調査を実施したところ、現地表下約1.5mまでが盛土であり、下位に本学移転後のものとみられる旧耕土を確認した。立会調査7件のうち、基幹環境整備(ブロック塀対策)工事、ライフライン再生(電気・給水設備)工事、東アジア研究棟・経済学部研究科棟渡り廊下屋根取設工事において、河川跡を検出した。

その他4件の工事では、埋蔵文化財に支障は生じなかった。

**白石構内**(教育学部附属山口幼稚園:山口市白石三丁目1-2、同山口小学校:白石三丁目1-1、同山口中学校:白石一丁目9-1所在)

令和元年度の埋蔵文化財調査は本発掘調査1件、立会調査3件を実施した。

教育学部附属山口小学校改修工事(EV・渡り廊下)に伴う本発掘調査では、調査区内が既設管等により大きく削平を受けていたが、北東から南西に走る河川を検出した。当河川は、既往の調査で幼稚園舎北東に確認されている弥生時代終末期の河川の下流部と推定されるものの、埋土からは明確な遺物は出土しなかった。

同じく山口小学校改修工事に関連し、既設埋設管の更新工事が計画された。工事は小学校敷地のほぼ全域に及んでおり、9月前半から3月後半にかけて立会調査を実施した。管路の新規掘削ルートにおいては、施工業者の協力のもと遺構検出作業を行ったところ、土壌やピット、溝などの遺構や遺物包含層が各所で検出され、縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器が出土した。

その他2件の工事では、埋蔵文化財に支障は生じなかった。

**小串構内**(医学部、同附属病院:宇部市南小串1丁目1-1)

令和元年度中に土地の掘削を伴う工事計画は立案されなかった。

**常盤構内**(工学部:宇部市常盤台2丁目16-1、尾山宿舍:同上野中町2658-3所在)

令和元年度中に土地の掘削を伴う工事計画は立案されなかった。

**光構内**(教育学部附属光小学校、同光中学校:光市室積8丁目4番1号)

令和元年度中に土地の掘削を伴う工事計画は立案されなかった。





図2 小串・常盤構内位置図



写真19 小串構内航空写真（南東から）



写真20 常盤構内航空写真（南から）



写真21 光構内航空写真（北東から）



図3 光構内位置図